

# 就職氷河期世代支援関連予算について（令和2年度当初予算：199億円）

就職氷河期世代の方々への支援を強化・加速化するため、相談・支援機関の強化・連携や本人に対する支援の強化を中心に、令和元年度補正予算66億円、令和2年度当初予算199億円の支援を行う。

同世代への方々への支援については、安定的な財源の下で関係者が安心して取り組めるよう、就職氷河期世代支援に関する行動計画2019において、令和元年度補正予算を含め、『**3年間で650億円を上回る財源を確保する**』との方針を示している。

## ● 相談・支援機関の強化・連携

- ・ハローワークにおける専門窓口の設置、担当者によるチーム支援の実施 14.9億円
- ・民間事業者のノウハウを生かした不安定就労者の就職・定着支援 13.0億円
- ・アウトリーチ等の充実による自立相談支援機関の機能強化 31.7億円
- ・地域若者サポートステーションの支援対象の拡大、福祉機関等へのアウトリーチの強化 53億円
- ・ひきこもり地域支援センターと自立相談支援機関の連携強化 11.5億円
- ・就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援 4.2億円

## ● 本人に対する支援の強化

- ・業界団体等による短期間での資格取得・正社員就職の支援等 34.7億円
- ・都道府県による就労体験・就労訓練先の開拓・マッチング 3.3億円
- ・就労準備支援事業等の広域的实施による実施体制の整備促進 5.8億円
- ・農業分野等との連携強化モデル事業の実施 1.0億円
- ・技能修得期間における生活福祉資金貸付の推進 2.2億円
- ・就職支援コーディネーターの創設（都道府県プラットフォームを通じた職場実習等の機会の開拓） 8.1億円

## ● その他関連施策

- ・特定求職者雇用開発助成金の拡充（就職氷河期世代安定雇用実現コース） 13.0億円
- ・本人や家族への情報のアウトリーチの更なる強化 0.1億円
- ・ひきこもり支援に携わる人材の養成研修 1.2億円
- ・就職氷河期世代等に対する積極的な広報の実施 1.4億円

（注1）内数となっている施策も含めた合計額は、令和2年度当初予算1,207億円程度である。

（注2）キャリアアップ助成金（1,121億円の内数）、トライアル雇用助成金（12億円の内数）などは上記予算に含まれないが、就職氷河期世代支援のメニューとして利用可能。